

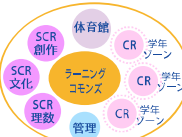


ビジョン1：自主・自律、文武両道の校風を支え、将来を見据えた多様な教育活動に対応できる学校づくり

自主的・主体的な学びを育む 学びのフォーラムとして校舎を構成する

2階中央にラーニング commons

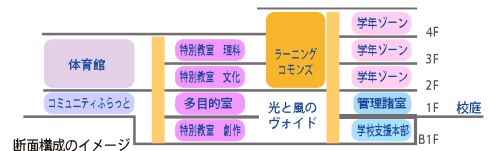
- 学校図書館を主体とする「ラーニング commons」を校舎2階の中央に据えます。
- 3つの学年ゾーンと特別教室をラーニング commons を囲むように配置し、生徒たちの自主的・主体的な学びの中心空間とします。



学びのフォーラムのイメージ

地下1階・地上4階で構成し2～4階に学年ゾーンを形成

- 校舎は地下1階・地上4階で構成し、2～4階の各階東側に学年毎の普通教室をまとめて、学年ゾーンを形成します。

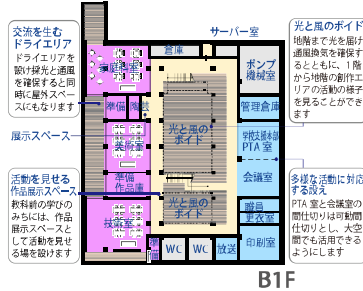


ラーニング commons を囲む回遊性のある校舎

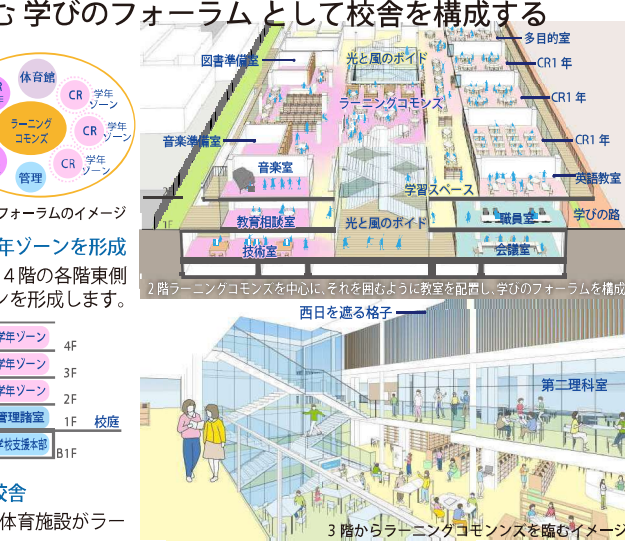
- 東側の普通教室、西側の特別教室、北側の体育施設がラーニング commons を囲む、回遊性のある校舎をつくります。その随所に学習スペースを設け、多様な主体的な学びの場を提供します。



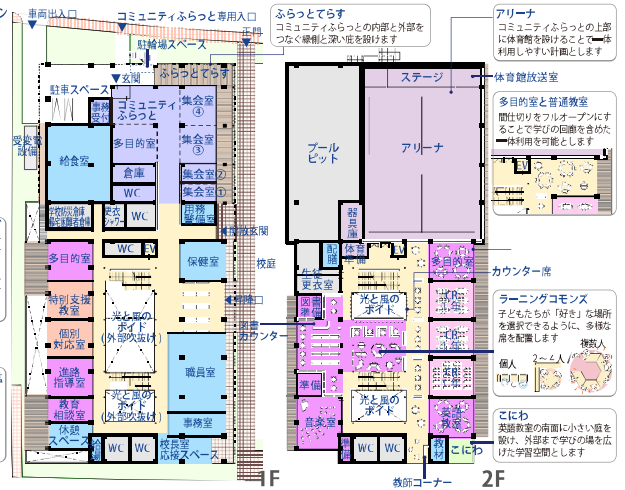
回遊性のある学習空間のイメージ



B1F



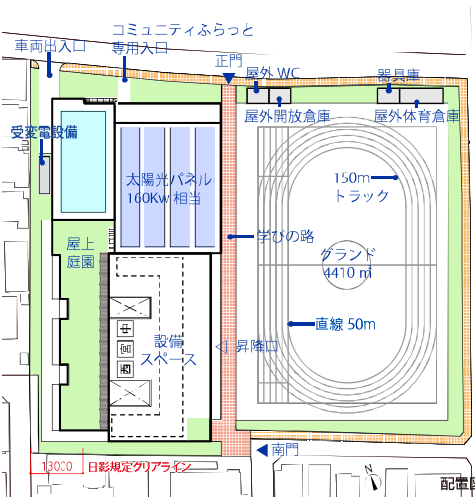
3階からラーニング commons を臨むイメージ



1F

ビジョン2：地域に寄り添い、環境に配慮した安心・安全で調和のとれた拠点づくり

校舎を整形にまとめて、安全で快適な校内環境をつくる



生徒たちの安全に配慮した学校づくり

校舎を敷地西側に配置

- 新設する建物は、校舎、体育館、プール、コミュニティふらっとの施設を含めて、シンプルで整形に建てます。
- 工事中も使用する既存校舎と体育館・プールを避けて、校舎を敷地西側に配置します。

南北の門をつなぐ「学びの路」

- 校内の入口は、既存と同様に北側に正門、南側に南門を配置します。
- 南北の校門を繋ぎ、校舎と運動場の境界となる校内通路を設けます。

2つの施設の共存に配慮した正門と専用入口

- 学校の安全に配慮し、コミュニティふらっとの専用入口を北側に設けます。

車両の搬入口を北側に配置

- 給食搬入等の車両搬入口を主要な道路となる北側道路側に設けます。

地域環境向上に寄与した学校づくり

整形なグラウンドの確保

- 現状の運動場以上の広さの運動場面積を確保します。
- 運動場は整形に確保し、部活動や地域開放でも使いやすいものとします。

周辺環境に配慮し階高を抑える

- 住宅街にある学校として、周辺に配慮して、階高を3.6mに抑え建物全体の高さを抑えます。
- 住宅地に近い校舎西側は3階とし隣地から離れた位置とし、景観に配慮します。

緑豊かな校内環境をつくる

- 敷地外周には中高木を植栽し、緑豊かな校内環境とするとともに、潤いのある景観を形成します。
- また植栽を近隣住居との緩衝帯として整備します。

安全な地域防災拠点としての学校をつくる

避難所と学校運営の共存可能な区画設定

- 通常時、地域開放エリアとなる1階のコミュニティふらっとと2階体育館が避難時においても避難場所として利用できるよう区画を設定します。
- 長期間の避難生活となっても、学校が運営できるよう、生徒動線と避難者動線が交差しない計画とします。

地球環境にやさしい学校をつくる

2つの視点で地球環境にやさしい学校づくりを実施

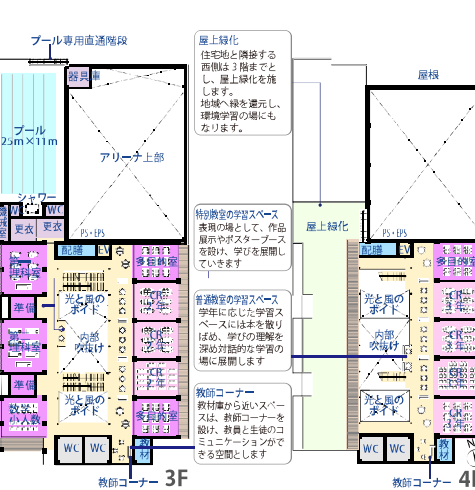
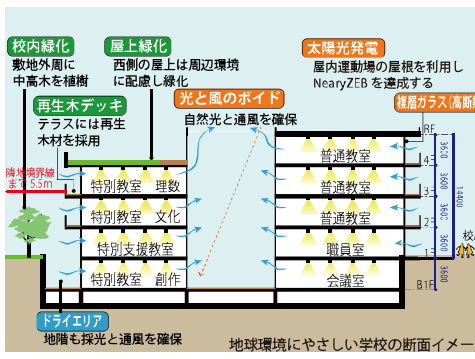
- 「エネルギー消費の低減」と「建物の長寿命化」の2つの視点から地球環境に配慮した学校づくりの実現を図ります。

1. エネルギー消費の低減

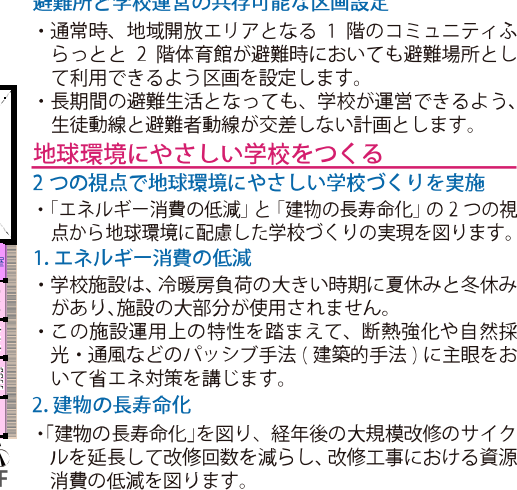
- 学校施設は、冷暖房負荷の大きい時期に夏休みと冬休みがあり、施設の大部分が使用されません。
- この施設運用上の特性を踏まえて、断熱強化や自然採光・通風などのパッシブ手法（建築的手法）に主眼をおいて省エネ対策を講じます。

2. 建物の長寿命化

- 「建物の長寿命化」を図り、経年後の大規模改修のサイクルを延長して改修回数を減らし、改修工事における資源消費の低減を図ります。



2F



3F



4F

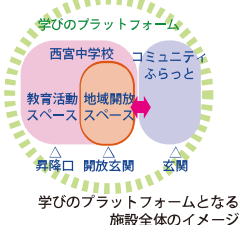
ビジョン3：地域のコミュニティの中心として、世代を超えた多様な区民が出会い、学びや交流が広がる、学校と集会施設との複合的施設

地域と協働できる開かれた学校をつくる

活動に応じて利用できる地域開放スペース

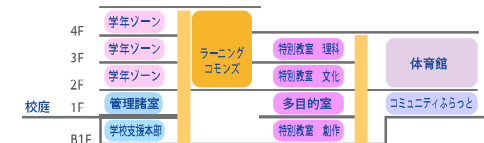
学びのプラットフォームにスムーズなつながりをつくる

- 学校とコミュニティふらっとの施設全体を「学びのプラットフォーム」とし、多世代が学び、交流する学校づくりの充実を図ります。
- 各施設の出入口は別に設け、コミュニティふらっとの利用者と先生方や生徒たちの動線の交錯を避けた動線とします。
- 学校の地域開放スペースとコミュニティふらっとが相互連携しやすい施設構成とします。



コミュニティふらっとの学校利用を可能にする

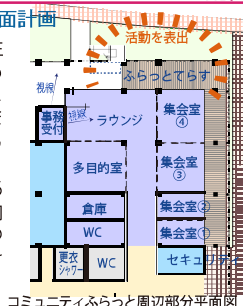
- 地域開放として利用頻度が高い体育館はコミュニティふらっとの上階に設け、活動に応じて開放する特別教室も近くに配置し、相互連携・同時利用を可能にします。



北側道路に面してコミュニティふらっとを配置して活動をまちに表出

コミュニティふらっとの平面計画

- 北側道路に面して、地域住民の多様な憩いの場となるラウンジを配置し、コミュニティふらっとの活動がまちに対して賑わいをもたらすオープンな設えとします。
- 半屋外となる縁側と庇のある空間を設けることで、内部だけでなく、外部へつながる開放的な活動ができる場とします。



地域交流活動の場を広げる地域開放エリア

コミュニティふらっとと連携しやすい体育館

- コミュニティふらっとの上階に体育館を配置することで、相互連携を図りやすくし、集団活動やスポーツによる地域活性化を促進させます。



段階的に開放できるセキュリティ区画の形成

- 地域開放の利用する時間や頻度を考慮して段階的に開放できるようセキュリティ区画を設定します。

平日昼間

- 教育活動スペースとコミュニティふらっとがそれぞれ単独で運営できるよう区画を設定します。

平日夜間

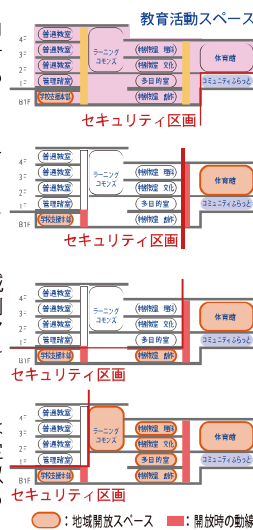
- 大人が運動する場として体育館が利用できるようコミュニティふらっとと一体で区画を設定します。

休日昼間

- ものづくりや料理等、地域住民と学校が連携して利用できるよう、創作エリアを地域開放として区画を設定します。

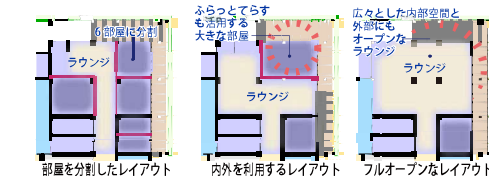
開放エリアの拡張

- 活動に応じて特別教室は地域利用することを想定し、普通教室・管理諸室以外のエリアを開放できる区画も設定します。



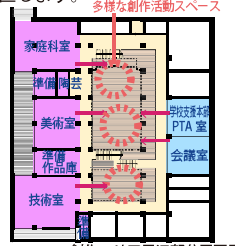
多様な空間を演出するスライディングウォール

- ラウンジと多目的室、集会室はスライディングウォールを用いて、多様な空間を演出します。
- 必要に応じて複数の部屋に分割したり、一体化させたりと、柔軟な運用を可能とし、既存のよう大宮前館での活動を継承しながら、さらなる多世代の交流の場として展開します。



学びの場として生徒と地域住民が交流できる創作エリア

- ものづくりや料理等創作活動を行う技術室・美術室・家庭科をまとめた創作エリアは、地下1階、学校支援本部の拠点となるPTA室と近い位置とします。
- コミュニティふらっとからもアクセスしやすいため、コミュニティふらっとでの活動の幅を広げます。
- 中央の外部空間は、地域開放エリアとして利用することができ、広く開放的な空間とし多世代が創作活動を通して交流できる賑わいの場とします。

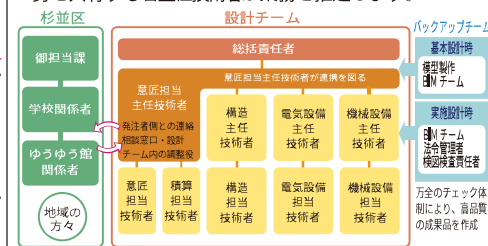


技術者チームの特徴・ワークショップの実績や提案・特に重視する設計上の配慮事項

豊富な実績を持つ設計チームが地域と共に学校をつくる

学校や公共施設の実績を豊富に持つメンバー

- 豊富な学校建築の設計実績を持つ総括責任者の指揮の下、学校建築に関して複数の設計実績をもち、総括責任者と姿勢を共有する各主任技術者が業務を推進します。

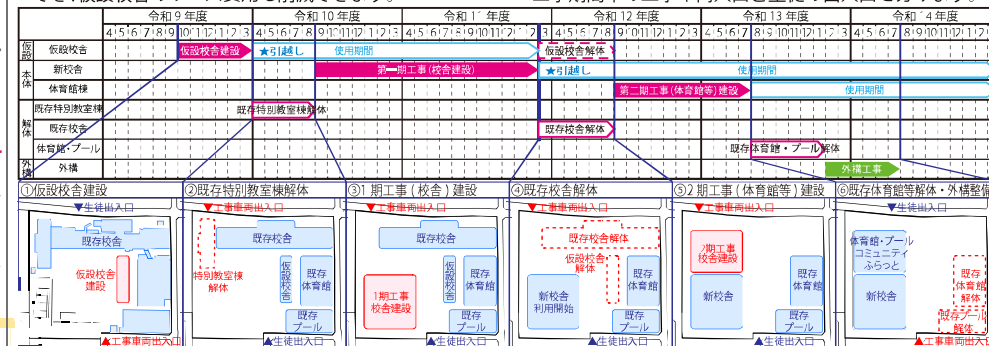


工事業務の工程、手順の効率性と工期

仮設校舎期間を最短化し、生徒たちの安全を確保する合理的な工事手順

特別校舎棟のみ仮設校舎として整備

- 仮設校舎を必要最低限とし、既存校舎を最大限活用する計画とすることで、仮設校舎の建設、解体工事の期間を短縮でき、仮設校舎のリース費用も削減できます。



応募者と総括責任者の工費削減に対する実績・工費削減のための工夫

実績を基にした工事費削減の工夫

- 都内小学校をはじめ建設物価高騰時においてコストを最適化した実績をもとに、下記の方策で工事費削減を図ります。

シンプルな校舎をコンパクトに配置

- シンプルな校舎をコンパクトに配置することで基礎工事、躯体工事及び仕上工事における費用を低減します。

ボイドスラブを用いて躯体量と型枠、天井仕上を削減

- ボイドスラブを用いることで建物高さを低くし、躯体量を削減します。また、梁型が出ないため、梁の型枠、天井仕上を省略することで、さらにコストを抑えます。

体育館・プールを上階に配置する

- フットプリントの大きい体育館とプールを上階に配置することで、基礎工事、土工事の費用を削減します。

モジュール化により合理的に組み立てる

- 各部をモジュール化することで基本手法を定め、工事が効率化され工期短縮に寄与します。

仕上材の簡素化

- 仕上材の簡素化することで仕上工事費を削減します。

これからの西宮中を地域の皆さんと考える

事業目的の把握と的確な現地調査とヒアリング

- 生徒の持ち物や授業形態等を把握し、新しい学校の設計に役立てます。
- カリキュラムや運営方法を精査して地域開放の方法や具体的な管理方法の検討をし、運営のニーズを十分に満たした計画にします。



施設の使われ方調査

地域の方々のご意見を傾聴

- 市民の方々の意見を聴く機会を設け、合意形成を行います。
- ワークショップ参加をきっかけに、新しい西宮中や地元に対する愛着を醸成する機会とします。



意見交換会の様子

生徒たちの登下校時の安全確保を徹底する

- 校舎を西側に配置し、工事段階を分けることで、安全で学習環境を阻害しない居ながら改築を実現します。
- 工事期間中の工事車両出入口と生徒の出入口を分けます。

LCC（ライフサイクルコスト）等について地球環境にやさしい学校をつくる

2つの視点で地球環境にやさしい学校づくりを実施

- 「エネルギー消費の低減」と「建物の長寿命化」の2つの視点から地球環境に配慮した学校づくりの実現を図ります。

1. エネルギー消費の低減

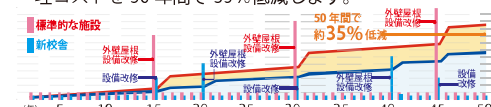
- 冷暖房負荷の大きい時期に長期休暇があり、施設の大部分が使用されない学校施設の特性を踏まえて、パッシブ手法（建築的手法）に主眼を置き省エネ対策を講じます。

2. 建物の長寿命化

- 「建物の長寿命化」を図り、経年後の大規模改修のサイクルを延長して改修費を低減します。

50年間の維持管理コストを低減

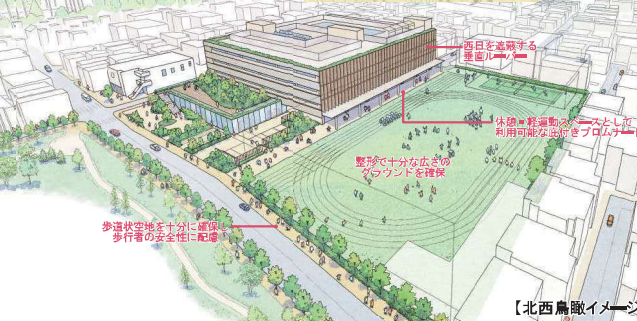
- 年間のエネルギーコストと修繕コストを合算した維持管理コストを50年間で35%低減します。



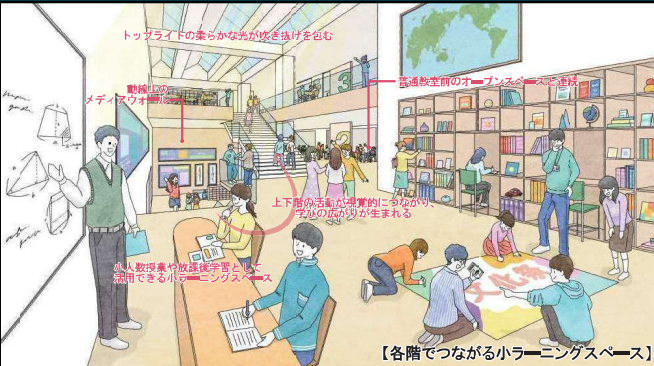
整理番号（事務局使用）

学校・地域と共に育つ“オープンエンドな学び舎”

使われ方の変化に柔軟に対応できる可変性を内包することで、“使いながら変化していく”学校を提案します。



【北西鳥瞰イメージ】



【各階でつながる小ラーニングスペース】



【地域の憩い・交流の場となる西宮ポケットパーク・西宮テラス】

- 【凡例】
- 普通教室
 - 特別教室
 - 特別支援
 - 管理部門
 - 共用部分
 - 集会施設
 - 共用部
 - △：出入口(学校)
 - ▲：職員
 - △：集会出入口
 - ▲：車間
 - ：生徒動線
 - ：集会動線
 - ：セキュリティライン

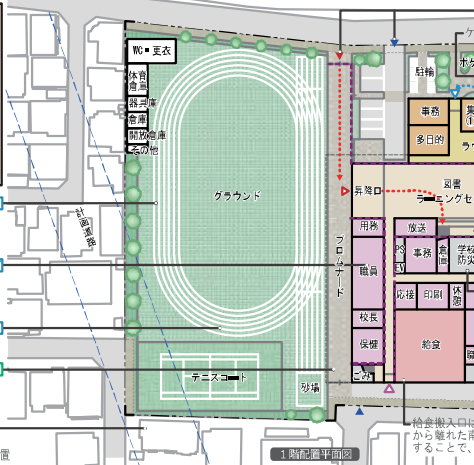
グラウンドは人工芝を導入することで安全性と維持管理に優れた快適で機能的な運動環境を実現

主要な管理棟は、校務の効率化のため1階に集約。職員室は正門・プロムナード・校庭を見やすい西向き配置

150mトラックが入る整形なグラウンドを確保

多目的・大規模なイベントにゆとりがあるプロムナード。災害時は物資配給ラインスペースとして機能

建物やトラックは将来道路としても影響が小さいように計画道路から近い位置に配置



- 人と車の入り口は分けて安全に配慮
- 地域からアクセスしやすい主要動線に接する広場を計画
- 接道面は敷地をセットバックして、歩道空間を計画
- 集会室と多目的室はラウンジを介して一気配が可能
- 昇降口の前にラーニングセンターを配置し、モノ・コト・ヒトとの出会いを誘発
- ラーニングセンターの大階段前は展示や発表会などに利用して、学校を越えた交流や主体的な学びの場を創出
- ラーニングセンターに面して防災倉庫を配置し、災害時の運営しやすいように配慮
- 特別支援教室や個別対応室は職員室や保健室から近く、静かに落ち着きのある南側に配置
- 個別対応室、教育相談室など車いすから入出できる計画することで、安全に配慮

- 地域開放したテラスは北側集合住宅と学校の緩衝空間であり、立体化により移住しやすい景観を形成
- 普通教室は北側に配置し安定した受光を確保
- グラウンド
- テラス
- 特別教室・普通教室と体育館の間にステイ・オープンスペースなどを配置し運動音が伝わらないように配慮

- 日常動線に沿って小ラーニングスペースは誰もが気軽に立ち寄れるオープンな学び場
- 教室・多目的室をモジュール化することで、将来の用途変更にも柔軟に対応可能な計画
- 移動間仕切りにより、教室・オープンスペース間を一体利用可能な普通教室
- 垂直・水平による西日対策

- 吹き抜けを介して互いに配置されたラーニングスペースは異学年間での偶発的な交流を促す
- オープンスペースは小ラーニングスペースに近接して配置し、学びの場と合わせ可変可能な柔軟な学びの場を提供

- 設備庫場に近接して設備シャフトを配置し、配管ルート是最適化
- ラーニングスペースの上にはトップライトを設け、光・風のまわりを作り、自然換気、採光を確保
- 設備メンテナンスしやすいように3階以上階に落ちるよう計画

- どの教室からも利用しやすい位置にトイレを配置
- 南面は隣り開口部を少なくし近隣住宅のプライバシーに配慮
- 普通教室や技術室など音を発する部屋は普通教室から離れた位置に配置

- 設備効率が高い南向きに配置
- 避難しやすいバランスのよい階段配置

- 設備効率が高い南向きに配置
- 避難しやすいバランスのよい階段配置

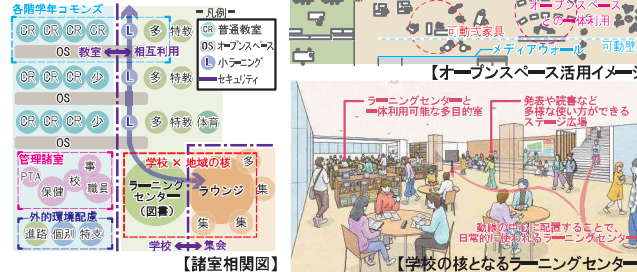
- 設備効率が高い南向きに配置
- 避難しやすいバランスのよい階段配置

【ビジョン1】生徒の主体性を引き出し校舎全体を学びの場に変える柔軟な学習空間

目標Ⅰ「Education for All / by All」を形にする学校設計

杉並区教育ビジョンで掲げている「Education for All / by All」を設計に反映します。可変のある教室やオープンスペースを一体利用し、動線上にラーニングセンターを設け、集会施設とも連携します。加えて、相談・ケア機能を近接配置することで、多様性を尊重し、自分らしく個別最適・協働的な学びができる環境を実現します。

普通教室前には、オープンスペースを配置し、教室の大型開口で一体利用を可能とします。学びの場を教室からオープンスペースへ広げることで、グループ学習やプロジェクト型学習など多様な活動に対応します。



【オープンスペース活用イメージ】

目標Ⅱ 教職員・生徒の対話と偶発的な交流が育む学びの拠点

西宮中学校の活発な学業・部活動・行事を支える屋内外環境を整備します。生徒と教員の関係を「見える・交わる・居る場」として構築し、学習・相談・交流が偶発的に生じる居場所を創出します。こうした仕組みにより、自主自律と文武両道の校風のもと教職員と生徒が将来にわたってコミュニケーションを育む学校づくりを目指します。

建物配置は、屋内外の教育環境や安全性、近隣環境に加え、地域や集会所との連携を総合的に比較・評価したうえで決定します。

	A室(東側校舎)	B室(西側校舎)	C室(南側校舎)	D室(北側校舎)	竣工時
集会所	○	○	○	○	校舎+ピロティ 430㎡
普通教室	○	○	○	○	50m×20m テニスコート
特別教室	○	○	○	○	○
体育館	○	○	○	○	○
児童館	○	○	○	○	○
図書室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○	○	○
理科教室	○	○	○	○	○
化学実験室	○	○	○	○	○
生物実験室	○	○	○	○	○
地学実験室	○	○	○	○	○
外国語教室	○	○	○	○	○
英語教室	○	○	○	○	○
音楽室	○	○	○	○	○
美術室	○	○	○		

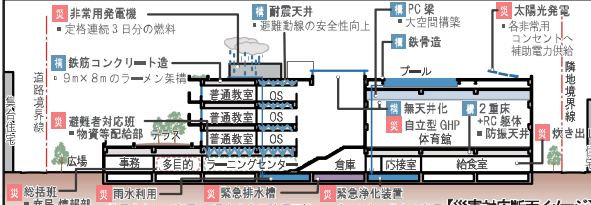
【ビジョン2】 学びと暮らしを支える“みどりの防災キャンパス”

目標Ⅴ 学びの継続と地域連携を支える安心・安全な学校

地域の声を計画に生かし、「みんなのしあわせを創る並並の教育」を圖に、誰にでもわかりやすい動線と避難計画で、学びの継続と安全安心の両立を図ります。平時は開かれた学びの場で、災害時には迅速に立ち上がる防災拠点となる学校を実現します。

目標Ⅵ 静穏環境と緑・木育×ZEBの統合提案

緑豊かな立地緑地を計画し、静穏な学習環境を保ちます。区方針に整合し、多摩産材等の活用や木育・炭素貯蔵の見える化とともに、高効率機器+BEMSでZEB Readyの実現を図り、環境教育を展開します。



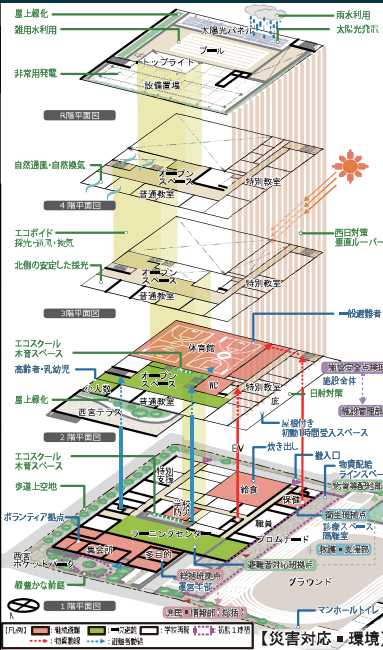
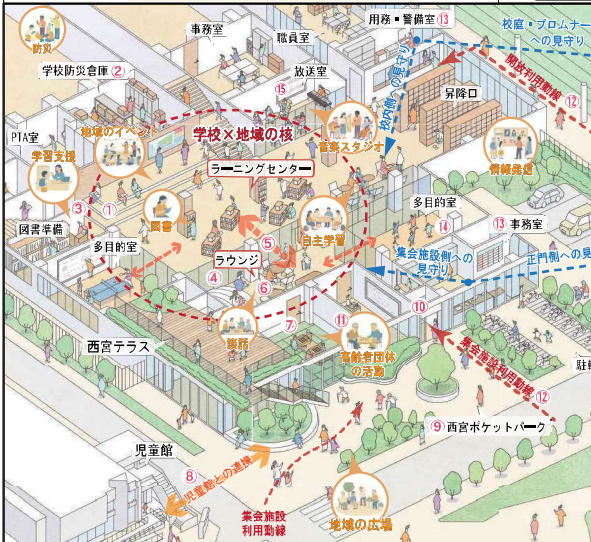
ZEB Ready を取得するための設計段階における環境・設備の考え方に関する提案

項目	ZEB Ready (BEI: Q.5以下)	種類	項目	ZEB Ready (BEI: Q.5以下)
断熱性能	外皮断熱 断熱抵抗値 0.15以上相当	断熱	空調	全熱交換器、CO2制御採用、インバーター制御採用
外断熱	外皮断熱 断熱抵抗値 0.15以上相当	断熱	照明	教室: LED4.4W/m ² / 体育館: LED5.2W/m ² / 特別教室: LED6.2W/m ²
外断熱	外皮断熱 断熱抵抗値 0.15以上相当	断熱	新制	在室検知・明るさ制御・タイムスケジュール制御・初期断熱性能の内3〜4種採用
ガラス	Low-E 複層ガラス(空気層12mm)プライド付	断熱	給湯	給湯室: ガス給湯器(高効率型) / トイレ: 電気温水器
方式	教室: COP3.5以上(個別制御 PAC(冷暖切替) 100〜150W/m ² 程度) / 体育館: COP 高効率型個別制御 PAC(冷暖切替) 200W/m ² 程度	空調	衛生	給湯室: ガス給湯器(高効率型) / トイレ: 電気温水器
COP	200W/m ² 程度	空調	配管	保温仕様 A
制御	室内温度制御(予備制御)外気取り入れ停止採用 / 外気カット・ウォームアップ制御・外気冷房採用	空調	自動給湯	手洗い個別給湯
		空調	可変電圧可変周波数制御方式	

【ビジョン3】 交流と安全を両立する可変的ハブで学校と地域をゆるやかに結びつ

目標Ⅶ 地域と育む「学びのプラットフォーム」

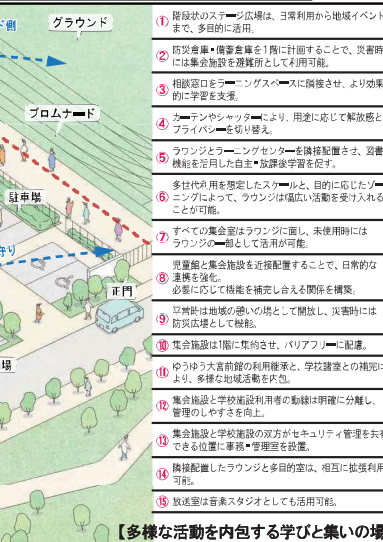
「生涯にわたり誰かが学び合える場」を基本に、学び合い・社会の創り手を育む場として、学校と地域が互いに見守り合える空間を創出します。利用者に応じた3段階のセキュリティを形成することで、相互利用が可能となり、生徒の学びと地域の学びを支える施設を実現します。



【ビジョン3】 交流と安全を両立する可変的ハブで学校と地域をゆるやかに結びつ

目標Ⅷ 地域連携と安全性を両立する未来の学校

「学校のラーニングセンター」と「集会施設のラウンジ」2つのハブが結節点となり、地域と学校の学び・交流が生まれるプラットフォームを形成します。さらに、中学校敷地内へ集会施設を整備するという特徴を活かし、学校と集会施設の諸室が機能を補完し合う仕組みを構築します。

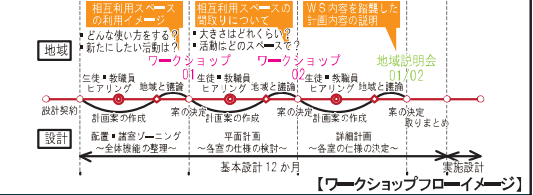


【多様な活動を内包する学びと集いの場】

みんなでつくる意識を育む参加型コミュニケーションの場

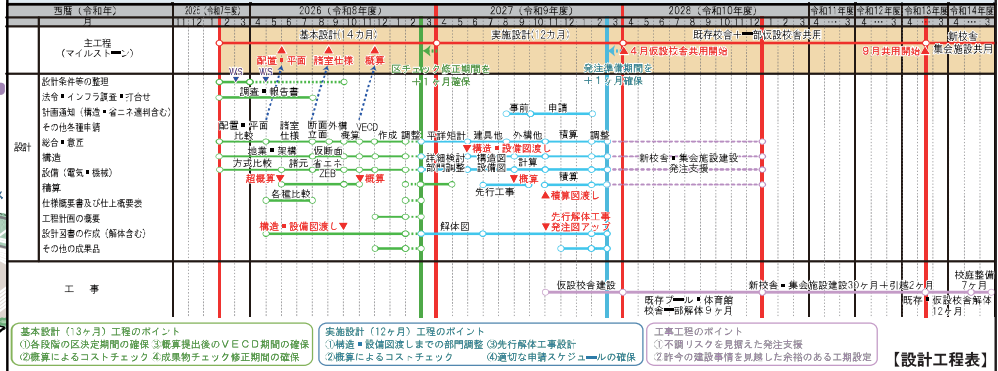
ワールドカフェ方式によるワークショップ

- ①みんなで議論する
 - ②明確なテーマごとに、決定し、積み重ねる
 - ③まず説明し、少人数に議論する
 - ④選択肢をつくり、選ぶプロセスを共有する
 - ⑤公開性、参加可能性を最大化する
- ・生徒や教職員、ゆるゆる館利用者、地域住民、区担当部局を交え、みんなで議論します。
 - ・明確なテーマに基づき、設計者が模型やイメージ写真を用いて選択肢や可能性を説明し、議論を深めます。



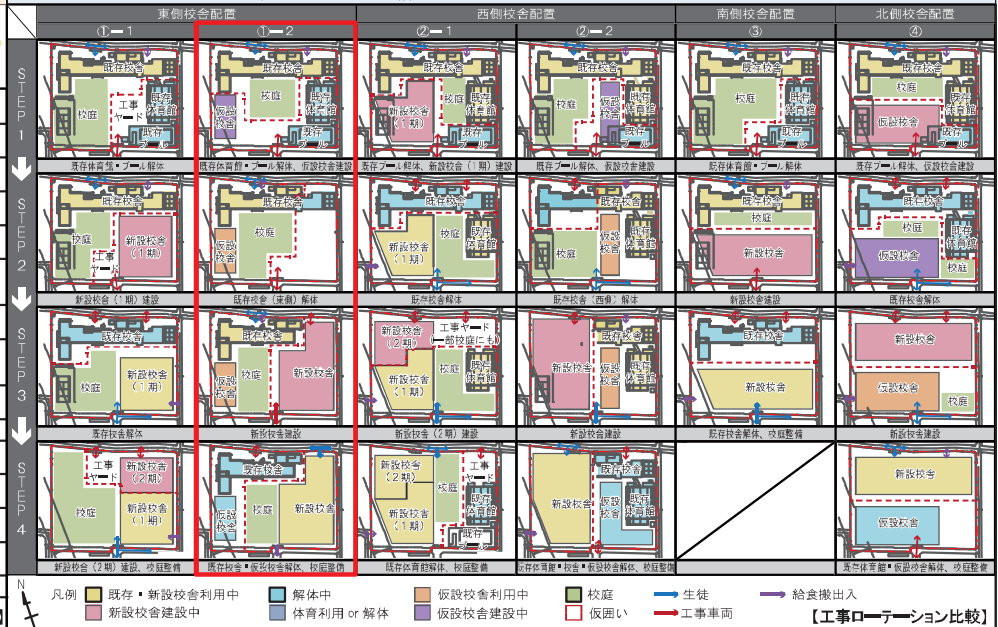
先導型で設計段階に応じた適切な業務遂行

マイルストーン管理とBIM活用により設計工期を短縮



仮設校舎、工事ステップの最小化によるコスト削減

綿密な工事ローテーション比較によるコスト削減



【工事ローテーション比較】

整理番号(事務局使用)

P3